特活）歯科医学教育国際支援機構・ニュースレター　2023 年 4 月号

カンボジアボランティア活動報告　OISDE 理事　谷野弦　（歯学博士）

OISDE のカンボジア代表である Dr. Sok Chea は OISDE のボランティア歯科活動に薫染され、自らもこの活動を実行しているカンボジアで最もハイレベルの歯科医師です。そんなボランティア活動の一環として、2022 年、自ら資金を拠出し、コンポンスプー州の Aoral 郡にボランティア歯科医療を実践する診療所を設立、その現状をこの 3 月に視察してまいりました。当該地域はプノンペンから 3 時間程度の地域ですが、いわゆる無歯科医村で、地域のヘルスセンターもほとんど機能していません。そんな現状を鑑み、当診療所では、地域住民に対してボランティアで歯科医療を提供しています。この診療所は歯科用ユニットが 2 台でプノンペンにある Sok Chea Clinic の歯科医師が交代で診療にあたり、しばしばヘルスサイエンス大学の歯学部の学生が僻地診療の見学に訪れているそうです。このプロジェクトの原点は OISDE が支援してきた歯学部学生に対する僻地医療教育である SETRA（僻地診療体験プログラム：Student Experience Tour in Rural Area）プロジェクトであり、現在は我々の手を離れカンボジア歯学教育により 4、5 年生で地域歯科医療活動が実施されているとのことです。長年 OISDE が支援を行ってきた結果、「支援者との共同事業」から「開発途上国当事者による事業の実践」へ段階が上がってきています。しかし、ガバナンスや資金の調達、道路や電力など劣悪なインフラの整備など解決すべき問題は少なくないと感じています。今回の視察でも途中電気が止まるなどインフラに関するトラブルもありましたが、それでも現地の住民に受け入れられ、感謝されている様子を見ると、カンボジア人によるボランティア僻地医療の素晴らしさを実感しました。さて、カンボジアの現在ですが、厳しいロックダウンなどの感染拡大防止措置が取られていましたが 2022 年に入り徐々に緩和され、昨年 10 月 3 日以降、入国時の新型コロナワクチン接種証明書や陰性証明の提出が不要となり事実上の入国制限はなくなっています。従来外国人観光客の多いプノンペンのリバーサイドですが、空き店舗も目立ちまだまだ観光客が戻ってきていない印象を受けます。このプロジェクトに対し、OISDE から資金提供と私個人からも歯科器材を提供させていただきました。今後も事業の継続に対し OISDE として支援を行っていく予定です。OISDE 会員皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

〒165-0025 東京都中野区沼袋 1-44-2 oisdetokyo@gmail.com　web: oisde.com
TEL: 08067037685